

11/17-18 宝仙学園高等学校2年生222人が南予に！

中高一貫の私立の学校（共学）の5年生（高校2年生）7クラス222名を南予8地区（内子町・大洲市、伊方町・八幡浜市・西予市狩江地区・西予市野村地区・松野町・愛南町）で受け入れ、1泊2日を民泊で過ごしました。

南予広域で、民泊での修学旅行生の受入はこの日が初めてになります。受入民家にとっても生徒にとっても初めての民泊で、お互いに少し不安な思いもあり、緊張もしていたようですが、それぞれが充実した時間を過ごせたようです。八幡浜では柑橘収穫や船釣り、芋掘り、散歩、共選の見学など民家ごとに異なる体験を行いました。民家さんは八幡浜での滞在を楽しんでくれるかどうか、ずっと不安だったようですが、海の景色や山の景色に目を輝かせ、出会う知らないモノ・コトに興味津々の生徒たちの姿を見て、驚くとともに安心したそうです。また、どの家庭でも食事は「おいしい!!!」と、とても喜んで食べていたと聞きました。新鮮な地元の食材を使い、一所懸命自分たちで作った食事は生徒にとって特別な食事となったのでしょうか。民泊を終えた生徒からは「人の温かさを感じた」「海や山の景色に感動した」「家族のように接してくれて嬉しかった」という感想を聞くことができました。



▲合田地区の漁師さんのお宅では、刺し漁で獲った魚を生徒自らがさばっていました。

愛媛新聞（2022年11月18日付）

修学旅行誘致で初民泊

DMO（観光地域づくり法人）八幡浜市ふるさと観光公社など南予の9市町の団体が2019年から都市部の学校にアピールしている。宝仙学園高の生徒は7市町56軒に宿泊し、イモ掘り（西予市）、狩猟加工施設見学（愛南町）などを体験する。

南予の団体協力
 海山開かれた自然豊かな家で、ほっこり1泊せんけん。南予の団体が協力誘致している広域修学旅行で、初めて民泊型を選んだ東京都の宝仙学園高校の生徒が17日、八幡浜市や大洲市など7市町を訪れた。2年生222人が18日まで住民方で過ごし、釣りやミカン収穫、料理などの日常を楽しむ。

南予の東京から222人自然満喫

海山開かれた自然豊かな家で、ほっこり1泊せんけん。南予の団体が協力誘致している広域修学旅行で、初めて民泊型を選んだ東京都の宝仙学園高校の生徒が17日、八幡浜市や大洲市など7市町を訪れた。2年生222人が18日まで住民方で過ごし、釣りやミカン収穫、料理などの日常を楽しむ。



●民泊型修学旅行で自分たちで釣った魚料理を味わう宝仙学園高校の生徒⑤アジの三枚おろしに挑戦する生徒①いずれも17日午後、八幡浜市吉間

▲八幡浜市での民泊の様子を取材してくれました。



▲みなと交流館で行われた離村式。班ごとに生徒と民家さんが感想を言い合うキャッチボール形式で行いました。



▲あっという間の1泊2日。南予を後にし、生徒たちは道後へ向かいました。

11/28-29 明星高等学校 2年生69人が八幡浜と狩江に！

中高一貫の私立の学校（共学）の高校2年生約1300名の内、2クラス69名を八幡浜市、西予市狩江地区の2地区で受け入れました。2日目の天候があいにくの雨で、民家さんも何をしようかと悩んだようですが、各民家では雨の止んでいるうちに船釣りに行ったり、竹馬で遊んだり、家でみかんの選果をしたり、共選の見学をしたり、マーマレード作りをしたりと、それぞれができることをやりながらしっかりと交流できたようです。また、この学校は課題解決型の修学旅行ということで、事前学習会をオンラインで2度実施し、自分たちで八幡浜がどういう場所か、どんな課題があるのかを調べた上で修学旅行にやってきました。離村式の後は各プロジェクトの班ごとに分かれて、八幡浜市内でのフィールドワークを行いました。「地域創生プロジェクト」は海岸での漂着ごみの調査や、トラックでの柑橘の運搬実態調査、未利用魚の活用の可能性の模索など多岐にわたります。フィールドワークは短い時間ではありましたが、八幡浜で見聞きしたことを持ち帰り、課題解決の実現に向けて修学旅行後も事後学習を行うそうです。



▲八幡浜市役所で行われた離村式の様子。涙をこらえながら感想を伝える生徒もいました。その様子に受入民家さんの目にも涙が。



▲日韓共同グループのライブを行い地域活性に繋がろうという班はコミカンで取材を行いました。

今回の八幡浜市での2件の受入の様子は八西CATVでも紹介されました。

過去の放送内容 (<https://www.hassei.or.jp/movie/>) 欄から閲覧可能です。「修学旅行ふるさと南予感動体験」のトピックからは是非ご覧ください。

「食かけるプライズ2022」PR動画撮影

農林水産省事業「食かけるプライズ2022」でネクストブレイク賞を受賞した「みかん農家×リアルな暮らし×マーマレード」体験プログラムのPR動画撮影を12月1日に行いました。1分のPR動画と、体験商品をよりリアルに感じてもらうための15分の配信用動画を1日かけて撮影しました。撮影には農泊専門家派遣事業でもお世話になっているトソ・セルカン氏と他の専門家も同行しており、体験内容のアドバイスを受けることもできました。

モデルとして来てくれたアンダーソン静香さんはYouTubeチャンネル「Japan by Food」の人気リポーター。同じくモデルのチージーさんはInstagramのフォロワー数35万人以上のインフルエンサー。日本全国の魅力を世界に発信しています。撮影後には早速、個人のSNSで八幡浜での体験を投稿してくれていました！

みかんジュース絞り〇真ん中が静香さん、右がチージーさん。



あとがき

初めての民泊での修学旅行の受け入れが終わりました。「帰りたくない」「また絶対に来ます！」という生徒の声や、来た時と帰る時とでの明らかな表情の違いに驚き、民泊の力を感じることができました。(山下)

発行日：2022年12月

発行者：(一社)八幡浜市ふるさと観光公社

TEL：0894-22-0855 FAX：0894-22-5653

八幡浜市観光物産情報：<https://yawatahama-kankou.com/>

ふるさと南予感動体験：<https://furusato-nanyo.com/>